

# メモリスロット基板共通説明

## 1. 対象メモリスロット基板

- ・ 8ビットメモリスロット基板 (JCB-001B-01)
- ・ 16ビットメモリスロット基板 (JCB-001C-00)

## 2. 対応メモリ

S - RAMメモリ			
8ビットメモリスロット基板		16ビットメモリスロット基板	
メーカー	型番	メーカー	型番
東芝	TC554001** - **	ルネサス	HM6216255HCTT - **
ルネサス	HM628512CLFP - *	"	HM6216255HCLTT - **
	HM628512CLTT - *	"	R1RP0416DSB - 2**

FLASH ROMメモリ			
8ビットメモリスロット基板		16ビットメモリスロット基板	
メーカー	型番	メーカー	型番
富士通	MBM29F400* C - ** PFTN	富士通	MBM29F400* C - ** PFTN
"	MBM29F800* A - ** PFTN	"	MBM29F800* A - ** PFTN

- 1 FLASH ROMは、8ビットと、16ビットとも、共通です。
- 2 各、メモリスロット基板は、S - RAMか、FLASH ROMのどちらかのみ使用する排他的使用方法ですので、両方を同一基板で使用することはできません。

## 3. メモリアドレス配置

- ・メモリ配置は、H8が所有するチップセレクト機能のCS1 ~ CS6を使用します。CSは、使用する一つのみを短絡して下さい。二つ以上使用すると故障や誤動作の原因になります。また、4 M b i t、8 M b i tなど共通で使用できる様にしていますので、実メモリ範囲以外のアクセスをすると、イメージアドレス領域に成りますので、注意が必要です。

## 4. メモリスロット基板の取り付け注意

- ・メモリスロット基板を多目的マザーボードの任意のスロットに差し込み、付属金属のキューブを用いて、ネジ止めします。その際に、基板が垂直に成るように、4ヶ所を徐々に止めていきます。片側のみを先に止めると、コネクタを破損させる可能性がありますので注意して下さい。